

		評価
たいへんよい	(十分できている)	A
よい	(できている)	B
一部検討する	(見直しが必要)	C
改善が必要	(できていない)	D

項目	チェック項目	2022年 3月	
		評価	改善方法
保育目標	保育理念・目標を理解し、保育を行っているか	B	前年度の振り返りは個々に行なっていったが、全体的に今年度の計画へと反映されるまでには至っていなかった。
	前年度の反省を生かし、目標を立てているか	C	
	目標は、全職員で検討し、共通理解を図っているか	B	
発達・援助	子どもの発達の特性を理解し、発達過程に合わせた援助をしているか	B	前年度の反省を踏まえ、各担当の保育計画を職員全員で共有していくようにした。子どもたちの発達に応じた計画作りへとつながったように思う。
	子どもの姿を理解し、信頼関係が築ける指導計画を立てているか	B	
	保育計画は、保育の基本方針に基づき、保護者と連携を取りながら作成しているか	B	
	一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画を立て、計画評価、会議を行っているか	B	
健康管理	登園時や保育中の子どもの健康管理は、一人ひとりの健康状態に応じて実施しているか	A	健康状態の把握については、家庭との連携も取りながら、日々こまめに行っていくようにした。感染症対応に関しては、マニュアルの確認をその都度行っていく、しっかり行うことが出来た。
	感染症への対応は、マニュアルに沿って対応ができていくか	A	
	感染症が発生した際、その状況を保護者に掲示・連絡をしているか	A	
	アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っているか	A	
保育環境	子どもが不安になったりした時、いつでも対応できるように保育者が身近にいるか	A	保育室内の環境については、季節ごとに装飾を変えていき、雰囲気を感じていけるようにしていった。子どもたち一人ひとりに合わせた対応も取ることが出来た。
	子どもが心地よく過ごすことができる環境整備をしているか	A	
	午睡時、安心して眠ることができる空間が確保されているか	A	
	季節ごとに壁面の工夫や歌を提供しているか	A	
保育内容	指導計画は実態に即して作成しているか	B	玩具の見直しを行っていき、年齢に合った玩具を新たに揃え環境を整えていくようにした。戸外活動を主に進めて行く中で、自然にも多く触れていくことが出来た。目標に対して、月ごとや期ごとに反省をし、修正をかけながら1年間を通して保育に取り組んでいった。
	環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか	B	
	子どもの発達段階に合わせた遊具、玩具の環境が整備されているか	B	
	素材、用具を適切に活用しているか	B	
	身近な自然や社会と関わるような取り組みがされているか	B	
	遊びや生活を通して、人間関係が育つように計画を立てているか	B	
	意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか	B	
	子どもにわかりやすい温かな言葉づかいで話しているか	B	
クラス目標や短期・長期のねらいの評価結果を基に保育の改善に努めているか	B		
食育	食べることを楽しむ工夫をしているか	A	個々の食への興味や食べられる量に配慮し、無理のないように見ていった。食物アレルギー対応に関しては、家庭との連携を取りながら進めていった。
	子どもの食生活を充実するために、家庭と連携しているか	A	
	月齢に応じた食事の量や形態(固さや大きさ)を理解し、提供できているか	A	
	食物アレルギーは、個別に配慮し食事を提供しているか	A	
行事	行事の内容や実施回数は適切であったか	A	季節の行事を積極的に取り入れ、普段の保育では経験できないような遊びが経験できる場となるようにし、子どもたち・職員全員で楽しんでいけるようにしていった。
	行事のねらいを計画や実施に十分いかせているか	A	
	乳幼児の活動範囲を考え、実践的な活動にしているか	A	
	計画、実施、評価、改善を行っているか	A	
保護者	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換を行い、状況に応じて個別面談などを行っているか	C	コロナ感染症対策の為、個別懇談の計画を立てていったが、実施するまでには至らなかった。日々の送迎時には、家庭との伝え合いを十分に行うようにしていった。
	連絡帳などで家庭での生活の様子を把握するようにしているか	A	
	保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録しているか	A	
	懇談会等の話し合いの場で共通理解を得られるようにしているか	C	

		評価
たいへんよい	(十分できている)	A
よい	(できている)	B
一部検討する	(見直しが必要)	C
改善が必要	(できていない)	D

項目	チェック項目	2022年 3月	
		評価	改善方法
安全・事故指導	水回りなどの衛生管理は、適切に実施しているか	A	ヒヤリハット件数については、職員によって差が見られていたため、事故防止への観点からも、ひとりひとりがもっと気づいて積極的に挙げていくべきであったと反省である。
	避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか	A	
	事故防止のための施設内外・設備の安全点検を行っているか	B	
	事故防止の為、ヒヤリハットをあげるようにしているか	C	
研修計画	乳幼児の安全確保のため、家庭・地域・関係機関等と連携を図っているか	C	研修へは積極的に参加していくようにし、他職員への伝え合いもその都度行っていくことが出来た。
	研修計画、取り組みは適切に行っているか	B	
	定期的な研修報告を行い、日常の保育に生かされているか	B	
運営・体制	研修会への参加態勢の充実を図っているか	B	様々な業務の中で、職員の個々の勤務年数や経験に応じて役割を分担していくようにしていき、職務内容についても明確にして全員が把握して取り組むようにしていった。
	職務内容が明確で、協働できる体制になっているか	B	
	係や仕事の分担・割り当ては適切か	B	
	会議を適切かつ効率的に進められているか	A	
情報保護	クラス間の打ち合わせ回数、時間、内容は適切であったか	B	個人情報に関しては、適切な取り扱いにつながるよう園内の研修を行うなどして取り組んでいった。
	乳幼児や保護者に関する個人情報適切に取り扱っているか	A	
	利用者のプライバシー保護に関する規程の整備をしているか	A	
	遵守すべき法令等を正しく理解するために研修への参加し、職員間で情報共有はできたか	A	
苦情	保護者が相談や意見を言いやすい環境を整備し、迅速に対応できているか	B	日々のコミュニケーションを大切に、相談のしやすい環境作りを行っていった。
	苦情解決の体制は整えているか	B	
地域	地域の行事や活動に触れているか	D	コロナウィルス感染症拡大に伴い、機会を作っていくことが難しかった。
	地域との関係が適切に確保されているか	C	
相談・情報	育児に係る子育て相談にのることが出来ているか	B	保育園の情報については、HPを通して十分に発信することが出来た。
	必要に応じて児童相談所等の専門機関との連携を図り、情報共有することができているか	B	
	保育所お便りなどの情報をHP等で発信しているか	A	